

水源の里 有安

A to Z

水源の里 有安 AtoZ

発行日	2025年3月31日
文・写真	京都産業大学現代社会学部 滋野ゼミ 椎葉絢香 吉田有伸 井上晃太郎 吉川奈歩 山崎海翔
デザイン	意匠房
協力	水源の里有安 滋野浩毅(京都産業大学現代社会学部教授)
写真提供	水源の里有安、綾部市定住・地域政策課
発行	あやべ水源の里連絡協議会



MESSAGE

本冊子には、豊かな自然や深い歴史、活力にあふれた地域の取り組みや今昔の有安の方々の暮らし、学生の目線から捉えた地域の魅力など、様々な情報が詰め込まれています。

今の有安の姿とその道のりがありのまま伝わるように、有安の皆様、市役所の方々など、多くの方々と、試行錯誤して作成しました。ご協力頂きました皆様に、心から感謝申し上げます。

本冊子が、実際に有安に訪れ、文字や写真だけでは伝えきれない、のどかな雰囲気と、心優しい地域の方々の温かなおもてなしを多くの方に体感していただくきっかけになれば嬉しいです。

ABOUT ～有安について～

有安は、自然と歴史ある文化に囲まれた穏やかな地域です。
四季折々、様々なイベントが開催され、人と人のつながりを大切にしています。
ゆったりとした時の中で、心満たされる日々を過ごせる魅力的な場所です。

人口46人 34世帯（2025年2月現在）



- 春** つくしやふきのとうが芽吹く。山々は新緑、ウグイが群れをなして産卵へと遡上。
- 夏** 蛭が飛ぶと夏の訪れ。鮎や鯉は泳ぎ回り、クマゼミの鳴き声が響き、より暑さを感じさせる。
- 秋** 田の稲穂が黄金色に色づき、少し物悲しさを感じる秋。山々の紅葉と共に柿や栗が実る。
- 冬** 雪虫が飛ぶと冬の訪れ。朝起きると一面の雪化粧。澄んだ空気をより一層感じる季節。

CONTENTS

Ayu	A	鮎	Niomon	N	二王門
Botannabe	B	牡丹鍋	Omatsuri	O	お祭り
Chicken	C	手羽先	Postcard	P	ポストカード
Dobutsu	D	動物	Quest	Q	探求
Ebisu shrine	E	えびす神社	Kambayashi river	R	上林川
Fire event	F	火渡り行事	Spring festival	S	春の大祭
Ground golf	G	グラウンドゴルフ	Taiken nyukyo	T	体験入居
Hotaru	H	蛍	Unity	U	団結力
I-turn	I	Iターン	V	V	屋根
Junior	J	ジュニア	Water	W	井戸水
Koinodo	K	古井の堂	X	X	公民館
Legend	L	伝説	Yama	Y	君尾山
Mochigome	M	もち米	Zyunan	Z	柔軟



Ayu 鮎

上林川には、昔、手掴みで取れるほどのたくさんの鮎が放流されてきました。今では放流の数が半分以上に減少しましたが、友だちと鮎獲りをして過ごした少年時代は、自然豊かな有安で育ったからこそ素敵な思い出です。



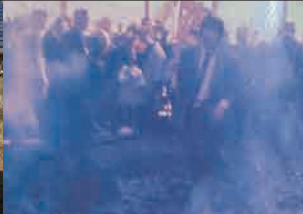
Botannabe 牡丹鍋

地元では「シカ肉などを食べる習慣はあまりないが、イノシシの肉の旨味がたっぷりと詰まった牡丹鍋はおいしくいただく」とのことです。部位によって味や食感も異なるため、その違いを楽しめるのも魅力の一つです。



Chicken 手羽先

手羽先は、有安を語るうえで欠かせない食べ物です。青年団が各神社の夏の夜祭や、君尾山の祭りの際、販売したのが始まりです。今では、二王公園まつりなどの行事で屋台を出すなど、皆から愛され続けています。



Dobutsu 動物

有安はとても自然豊かな地域であり、多くの動物が出没します。サルやシカ、クマ、イノシシ、アライグマ、ハクビシンなど、対処に大変苦労しています。駆除する以外に、上手く共存できる方法はないのでしょうか？



Ebisu shrine えびす神社

「市場」という地域には、かつて商売をやっていた家が集まっていた。そこで、商売繁盛を願う「えびす神社」を建立したのでしょうか？ 毎年、献花や燈明をして祀り、清掃し、今も大切に守られています。



Fire event 火渡り行事

君尾山の「春の大祭」では、素足で火の上を歩く「火渡り」という儀式が行われていました。柴燈護摩さいとうごまを焚き終えたのち燃え殻をならし、火の上を歩くことで、煩惱を焼き払い無病息災を願ったとされています。



Ground golf グラウンドゴルフ

有安の交流の場として、グラウンドゴルフはとても大切なイベントです。現在は有安を離れて生活している方が帰ってくることもあり、地域の方が皆勢ぞろいでグラウンドゴルフを楽しんでいます。



Hotaru 蛍

梅雨時の蒸し暑い風のない夜には、上林川に無数の蛍が飛び交う光景を有安橋から見るができます。令和6年、初めて飛んだのは6月5日。夜は蛍の光がとても映え、思わず写真を撮りたくなる美しい情景が楽しめます。



I-turn Iターン

有安の豊かな自然と澄んだ空気、井戸水も利用できる清らかな環境は大きな魅力です。広大な土地を利用して、手頃に作物作りを楽しむこともできます。温かな地域の方々と一緒に、スローライフを満喫できるでしょう。



Junior ジュニア

昔は枝で剣を作ったり、川遊びをしていました。現在、有安で生活する中学生以下は6人。上林太鼓を学んでおり、定期的に練習会に参加します。同じ自然が豊かな環境に身を置きつつも、違った楽しみを持ち日々を過ごしています。



Koinodo 古井の堂

「大菩薩の出現なさった古井戸」にちなんだ名称で、菩薩像をお祀りするため、村の人が建立しました。当時「願いの王」と信じられていた大菩薩は、今では「子宝を授けてくれるお地蔵様」として親しまれています。



Legend 伝説

『ふるさとのかたりべ』という冊子には、大唐内村の人たちを困らせていた大蜘蛛を、有安村の弓の名人が一矢で見事に仕留めた伝説が掲載されており、名人の好物を振舞う盛大な甘酒講についても描かれています。



Mochigome もち米

有安は水源の里の指定を受け、休耕田を借りてもち米を栽培していました。地域や地域外の人に販売したり、餅つき大会を開催して住民に振る舞っていました。今でも餅つき大会は地域の行事として続いています。



Niomon 二王門

二王門は、鎌倉時代に建設された君尾山の光明寺にある三間一戸の二重門です。京都府北部の建造物唯一の国宝である二王門の中に、国指定の文化財の像が安置されています。味わい深いベンガラ塗りの色彩を楽しめます。



Omatsuri お祭り

ここでいうお祭りとは、納涼祭のことです。地元を離れた方々も有安に戻ってきて、みんなでご飯を食べたり花火をしたりといった、みんなが息抜きできるような団らんの時間を過ごすことができます。



Postcard

ポストカード

有安の公民館には、10年前に『二十日友の会』が始められた絵はがきが飾られています。柔らかな色合いと心とむ絵を文字と共に楽しむことができ、ひとつひとつ味があって、心温まる作品が並んでいます。



Quest

探求

有安で幼少期を過ごした人のお話です。学校帰りに君尾山の山や川で遊び、木に生った柿などを取って食べるなど探求心旺盛な毎日を送っていました。お茶目な子どもを暖かく見守る地域の大人とのエピソードです。



Kambayashi river

上林川

有安には水がとても綺麗な上林川が流れています。かつて学校にはプールがなかったため、子どもたちは夏休みに毎日川で泳ぎ、服を着たまま泳げるくらい上達しました。また魚をモリで突き、潜りの技術も身につけました。



Spring festival

春の大祭

毎年4月18日に開催される君尾山の春の大祭には、本堂で十人程の真言宗の僧侶による、大般若経の転読が行われます。かつては京都方面からの参詣者が多くあり、おもちゃ屋などが出店してにぎやかな祭りでした。



Taiken nyukyo

体験入居

有安では、市が借り受けて整備した空き家が、定住支援住宅として貸し出されています。希望者は、3年間の入居期間を通して、農村集落の環境に慣れ親しみ、人脈づくりや市内での定住を実現することができます。



Unity

団結力

かつて、奥上林では運動会が行われていました。地域対抗で競うことでそれぞれの地域の団結力が高まり、奥上林地区全体の交流の場ともなっていました。現在でも有安は、お互い助け合う団結力のある地域です。



V
屋根

トタンで覆われた急勾配の屋根が見られ、Vを逆さまにした形に似ています。この形は積雪が落下しやすいように作られています。トタンの下は茅葺きで、葺き替えに必要な茅の確保が難しくトタン屋根へと変化しました。



Water
井戸水

日々の暮らしには欠かせない水ですが、有安地区の各家は井戸水や山水を利用して生活を送っています。多くの家は打込み井戸を堀り、ポンプアップして生活用水を確保します。「水源の里」だからその生活ですね。



X
公民館

有安を構成する4つの地域「有安、古井、^{しょう}庄、^{いちば}市場」。公民館を真ん中に、4つの地域は“X”の字で区切ることができます。親交を深め、皆の憩いの場としても中心的な役割を担う公民館はとても大切な存在です。



Yama
君尾山

昔は小学生のマラソン大会の会場となりました。今でも毎年春に登山道等の草刈りを行うことで綺麗な状態を保ち、大切にされている山です。標高582メートルの君尾山からの雲海の眺望は美しいです。



Zyunan
柔軟

有安自治会は住民の住みやすい環境づくりを意識しています。伝統に固執することなく、今の地域の姿と住民一人一人に向き合い、住民の声を取り入れています。このような柔軟な考えが、有安の魅力につながっています。



こぼれ話

光明寺二王門には、二体の二王像が安置されています。昔からこの像に触れた箇所の身体の調子が良くなると言われていたとか。この像は地域の人々にとって、身近な存在だったのではないのでしょうか。

住民コメント



吉岡 正治（水源の里・有安代表）

有安を取り巻く環境も私の幼少の頃に比べればずいぶんと変わってきています。田畑は柵で囲われ、山林には倒木が目立ち、川底は浅くなり生物は少なくなってきました。市場では「しまだや（さかなや）」、「佐原百貨店（なんでもや）」、「えびすや（おかしや）」、「いろく（たばこ、雑貨）」などのお店が無くなり、猿、鹿、猪が我が物顔で駆けずり回っています。それでも変わらないものは、おいしい水、川のせせらぎ、満天の星空、そして何よりも季節を感じる空気。こんな有安を我が故郷としていつまでも残したいものです。



藤元 恒夫

会社勤めの従属から離れたら、古井の実家で晴耕雨読の生活をしようと考えていました。コロナを機会に住居の主軸を移しました。時間軸、便利・不便、寒い・温かい、近隣との関わり方等のメジャー（測り）の基準を変えれば、少欲知足が解り、住めば都となります。偶発の事象にも備えつつ、身体が動く限り楽しく暮らしていきたいと思っています。



松井 一志

今では、君尾山へは、山内、大町と車で登れるようになっていますが、昔は古井の登山口からお堂の下を通り、二王門をくぐり、本堂（光明寺）へと徒歩で登るしか出来ませんでした。その林道を守る為に、有安自治会で年に一度、春に掃除を実施しています。高齢化が進み参加者が減っている中、1ターンで若い二組の家族が住んで居られ、二組共、親子で納涼祭、グラウンドゴルフ、餅つき大会、村用にも参加してくれています。子どもの賑やかな声を聞いていると活気が出て、作業も楽しく進んでいきます。今後も清掃活動を継続し、君尾山へ登る人が増える事を願います。古井にも綾部市の支援住宅が1軒あります。どんな家族が移住して来られるのか楽しみです。



奥田 洋

有安地区、水が澄みきった上林川と自然豊かな環境下にあります。春は「二王門マラソン大会」（上林地鶏手羽先唐揚げを店出）夏は納涼祭、秋は秋祭り、鹿の鳴き声で秋の終わりを感じながらグラウンドゴルフ大会、冬は餅つき大会等のふれあい。住民ひとり一人が参加し易い環境下にあり地元の方の心豊かな優しさ、温かさを肌で感じる事が出来ます。皆さん、綺麗な水で育ったお米、井戸水を浴びて育った万願寺とうがらし、ひもとうがらし、長茄子等に出会えま

すよ。有安で「みんなが寄り添い、支えながら」暮らしてみませんか？



渋沢 正志

AtoZの作成にあたって、改めて水源の里有安の良さを考えた時、自然豊かな有安地区。山や川が唯一の遊び場だった子どもを思い出しました。そして今では有安納涼祭、餅つき大会などで多くの交流行事に参加することで、世代を越えた交流ができることの喜びを感じ地域の魅力を再発見する場でもあると思っています。今後もこの取り組みが、地域の愛情や愛着を高める場となり、帰郷、1ターンのきっかけになればと思います。

学生コメント

椎葉 絢香

初めて有安を訪れ、自然の美しさや人の温かさに触れました。閑静な空間に連なる山々、その間を流れる上林川が魅力的な自然と心が落ち着く場所です。この冊子から有安の魅力を多くの方に届けたいです。

吉田 有伸

有安の皆さまとお話する中で、移住者にも柔軟に対応しながら地域を大切に守ろうとする強い思いが伝

わり、その温かさを実感しました。この冊子を通じて有安の魅力が多くの方に伝われば幸いです。

井上 晃太郎

私は福知山市出身ですが上林には行ったことがありませんでした。実際に行くと、綺麗な川が流れていたりと、6月になると蛍を見ることができるというのを初めて知りました。有安の良さが伝わると嬉しいです。

吉川 奈歩

有安の皆様との対話を通して、新たな視点や学びが得られました。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。人も自然も魅力的で素敵な地域ですので、ぜひ一度足を運んでみて頂きたいです。

山崎 海翔

この活動を通じて初めて有安へ訪問させていただき、人のあたたかさに感動しました。そして豊かな自然や生命をこの身で感じ本当に魅力に溢れた場所だと感じました。

滋野 浩毅（京都産業大学 教授）

集落を歩き、お話を伺う中で、車で通り過ぎるだけでは見えなかった有安の場所が持つ意味が見えてきたような気がします。光明寺、かつての賑わい、上林川……歩くことで有安の持つ魅力がしみじみと伝わるのではないのでしょうか。